

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 啓発宣伝費（新型コロナ対策）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 感染症対策推進課 企画係

電話番号：058-272-1111(内3341)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,911 千円 （前年度予算額： 6,135 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,135	0	0	0	0	0	0	0	6,135
要求額	5,911	0	0	0	0	0	0	0	5,911
決定額									

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症は、令和 5 年 5 月 8 日以降、これまでの「新型インフルエンザ等（２類相当）」から「５類感染症」に位置付けが変更されたことに伴い、法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、県民一人ひとりの自主的な取り組みをベースにした対応に移行した。

しかしながら、感染すれば、若い方でも高熱や激しいのどの痛み、後遺症のリスクなど、日常生活に影響が及ぶほか、高齢者や基礎疾患のある方は、入院に至るケースも多く、依然として危険な病気であることに変わりない。

そこで、感染動向に応じて、引き続き、県民や事業者に対して、基本的な感染対策の実施や早期の医療機関への受診等、必要な対策の呼び掛けを実施する。

（２）事業内容

新聞広告、チラシ等により広報を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,911	新聞広告、チラシ等を活用した広報
合計	5,911	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

県は、その時点の感染状況に対応した「県民向けメッセージ」等を随時、的確に発出している。その内容の周知もまた、時期を逃さず、速やかに実施する必要がある。

(2) 国・他県の状況

国、他県においても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る各種広報を実施している。

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルス感染症の収束状況等を見極め、事業継続の要否を検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、県での実施は妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルスの感染状況を見極め、適時、適切な普及啓発を継続して実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルスの感染状況を確認に見通すことは困難であることに加え、県民に継続して情報を提供することが目的であるため、目標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>新聞広告、ラジオ等、各種広報媒体により広報を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞広告（全5段）：岐阜新聞・14回、中日新聞・14回、朝日新聞・14回 （短冊）：岐阜新聞・354日 ・ラジオ放送（AM）：12回（土日） （FM）：12回（土日） ・のぼり旗：700枚 ・YouTube広告：2回
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	<p>新聞広告等により広報を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞広告（全5段）：岐阜新聞・7回、中日新聞・7回、朝日新聞・6回 （短冊）：岐阜新聞・207日 ・その他：シンポジウム パネル制作業務
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

令和 6 年度	新聞広告等により広報を実施。 ・新聞広告（全5段）：岐阜新聞・3回、中日新聞・3回、朝日新聞・3回
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
（評価） 2	新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止等のための啓発は、引き続き重要な対策の一つである。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
（評価） 2	基本的な感染症対策の徹底が感染拡大防止において重要であり、一定の効果があると思われる。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
（評価） 1	感染状況や社会の反応を見極めながら、情報発信の内容に変化を加えたり効率化を図ることで、事業効果向上に努めている。

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、より効果的・効率的な広報を展開するため、発信内容や広報媒体の工夫、改善を引き続き追求する必要がある。
--

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためには、継続した普及啓発が今後必要である。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	